

会議の名称	第2回茅野市総合計画審議会		
開催日時	令和4年2月14日(月) 18時30分～19時30分		
開催場所	茅野市役所 8階 大ホール		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局	<p>○議事</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 諮問</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第5次茅野市総合計画の見直しについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <p>(2) これからの茅野市のまちづくりについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span></p> <p>(3) その他</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 次回会議日程について</p> <p>6 閉会</p> <p>○議事録</p>		
	会長	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>相変わらず新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっている。みなさんの生活にも大きな影響が出ていると推測するが、様々な行動が制限される状態が2年も続く中で、家庭内だけではなく、地域コミュニティ、企業、行政運営、経済にも大きなダメージが発生している。</p> <p>市長の明けない夜はないという言葉に励まされながらも、将来への不安はぬぐいきれないため、現在の茅野市を見つめ直すとともに、アフターコロナを見据えた将来の茅野市に対する考えをみなさんから出していただきたい。</p> <p>また、第5次総合計画の基本構想策定時と現在では、社会状況が大きく変化をしている。将来の行財政についても先行きが不安であるため、基本構想も含めた計画の見直しと分野別計画の集約をする必要があると考えている。本日は各専門分野の枠を越えて、将来の茅野市の課題に対する意見をいただきたい。</p>	
事務局	<p>3 諮問</p> <p>=市長より会長へ諮問=</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 第5次茅野市総合計画の見直しについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <p>=資料1に基づき、説明。=</p>		

<p>会長</p>	<p>事務局から見直しにおける3つのポイントとして目的志向、自分ごと化、未来志向が挙げられたが、今後検討を進める上で、共通認識として持つことが重要になる。</p> <p>また、今回から委員になった方もいるため、これからの茅野市のまちづくりについて市長の考えを伺い、委員の目線を揃えたい。引き続き、資料2に沿って説明をお願いしたい。</p>
<p>市長、地域創生政策 監</p>	<p>(2) これからの茅野市のまちづくりについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span></p> <p>＝資料2に基づき、説明。＝</p>
<p>会長</p>	<p>第5次総合計画策定時にはなかった新しい課題が出てきていて、当時は、DXやゼロカーボンという考え方はなかった。また、急激にSDGsが推進されるということもイメージしていなかった。私たち委員も、新しい流れを踏まえた上で、審議を進めて行く必要がある。</p> <p>一方で、第5次総合計画策定時においても、担い手不足の問題はあったが、若者がこの地域にとどまらないということが大きな問題になってきている。茅野市においては、特に若い女性が残らないという現状あるが、大田区においてスクールカウンセラーをされていて、若い方々との接点も多い委員に意見を伺いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>若い女性が居つかないということ、今回初めて知った。特急電車を使えば、都心から2時間程度でアクセスできる立地にあるため、帰りやすい場所、2拠点居住に選ばれやすい場所だと考えている。都市圏に出てみることは悪いことではない。若者がそこで得た知識や経験を持って、戻って来られる場所になれば良いだろう。</p> <p>茅野市は、地域市民と別荘市民という考え方をしているが、茅野市には別荘市民が1万世帯ほどあると伺った。これは外の人を受け入れる体制が整っているということだろうし、若者に選ばれるまちに向けての下地は出来ているのではないかと考えている。</p> <p>また、話がずれてしまうが、例えば諏訪中央病院は、茅野市内にあるにも関わらず諏訪という言葉が使われているのが気になってしまった。別荘市民としては、リゾートと言えど蓼科という言葉の思い浮かべることができるが、茅野という言葉の全面に出していくことも必要なのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>茅野市には諏訪東京理科大学があるが、卒業生がこの場所に残ろうと考えているのかどうかということも含めて、大学生の様子を委員に伺いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>本学の女性の生徒は全体の1割程度である。また、公立化後の県外出身者の割合は公立化前と逆転をしていて、7割程度が県外からの生徒である。出来る限り地域や地元企業の魅力を伝えて、ここに残ってもらえるように取り組んでいるが、やはり地元に戻りたいと考える生徒が多いという風に実感しており、定着に向けた一層の努力が必要だと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>続いてはDXについてで、本日もこのようにリモート会議をしているが、こういった形が増えてくると、対面で話をしたいという欲求が出てくる。茅野市は観光や自然環境といった面で非常に恵まれているが、委員が観光という視点から対面の重要性等について認識している部分があれば、意見を</p>

<p>委員</p>	<p>伺いたい。</p> <p>先ほど委員が発言されたとおり、別荘エリアを抱える中で、広いエリアから人を受け入れる土壌があるということには同感をしている。そういった土壌を活かしていくことが必要だと考えている。</p> <p>また、DXと人とのふれあいの重要性という部分では、例えば宿泊施設を利用する際に、今まで最後まで丁寧に案内してもらうことを求めていた方々が、むしろ、予約から精算までスマートフォン等で済ませたいという風になってきているという事実がある。ソフトで人当たりをしっかりと作ることと、DXを使って、過ごしやすく、暮らしやすい環境を作ることは相反するというよりは、両立するものだと考えている。そういった部分を「ゆい」という言葉で、これまで茅野市が築いてきた福祉、教育、医療を基盤にしつつ、DXを手段として活用することができれば、すばらしい形が生み出せると考えている。</p> <p>(3) その他 ＝審議会委員、事務局、それぞれ発言なし。＝</p>
<p>事務局</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 次回会議日程について</p> <p>次回はどんな計画にしたいのか、どんな計画にする必要があるのかという部分について、こちらから素案をお示しさせていただいた上で協議をお願いしたい。その場合、リモートの会議では進めにくいいため、対面で開催したいと考えている。新型コロナウイルスの状況を見ながら、改めて会議日程をお知らせさせていただきたい。</p>
<p>副会長</p>	<p>6 閉会</p> <p>本日、方向性の共有ができたと考えている。問題点にばかり視点を当ててしまうと重苦しくなってしまう。今後、新しい取り組みもあるため、未来は明るいと信じて進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>